

# 昭和52年度 和歌山県名匠

## 【ひ わ だ ぶ き し 檜皮葺師】

## ど い さだ た ろう 土井定太郎

【現住所】橋本市

【生年】明治32年

### 職 歴

大正2年15才で橋本市谷上家の弟子に入門以来、檜皮葺を家業としてきた。

### 業績の概要

大正2年檜皮葺の道に入り今日まで60有余年、50数社寺の屋根の修復監督に専念されている。

最近、氏がてがけた社寺には、京都府の相楽神社さがなかがあり、そのほか御霊神社、天満宮、東本願寺の勅使門ちやくしもん、京都御所の学問所いんあう、稲植神社、奈良県生駒神社などがある。本県では、橋本市の天満神社、和歌山市の上小倉神社、梶取本山総持寺のほか、国の文化財であるかつらぎ町の宝来山神社ほうらいさんの修復をされている。

氏は、檜皮葺でも唐破風からばふうなどの重要部分を担当し、特に優美さが要求されるその伝統を守ってきた。

また、その豊富な知識と経験を生かし、後進の指導育成にも努められるなど、文化財保護に貢献された功績は極めて大きいものがある。